

サステナブル経営委員会の設置について

－経済的価値と社会的価値を共に向上させ、持続可能な成長を目指す－

三洋化成工業株式会社
(証券コード 4471)

三洋化成工業株式会社（本社：京都市東山区、代表取締役社長：安藤孝夫）は、持続可能な社会の実現に向けて企業に対する社会の要請や期待が高まる中、経営理念に基づいて持続的に成長するとともに、経済的価値と社会的価値の向上を両立させる取り組みとして、2021年4月1日よりサステナブル経営委員会を設置いたします。

当社は、「企業を通じてよりよい社会を建設しよう」を社是として、これまでもCSR委員会が中心となって環境・社会・経済における持続可能性に配慮したサステナブル経営^{*1}を行ってまいりましたが、社会からの企業への役割期待が変化中、このたび企業としてのパーパス（存在意義）を改めて問い直し、グループ一体となってサステナビリティ推進体制をより一層強化するため、サステナブル経営をCSR（企業の社会的責任）の上位概念として位置づけ、同委員会を設置することを決定しました。

同委員会は社長を委員長とし、2021年4月より経営企画本部に新設する価値創造推進部が事務局となって運営する、取締役会の下部組織となります。創業以来、大切にしてきた「企業を通じてよりよい社会を建設しよう」という社是を再定義するなど、弊社の創出する価値を全社で共有することにより、全従業員が誇りを持ち、働きがいを感じるユニークでグローバルな企業グループに成長し、持続可能な社会の実現と企業の持続的成長に努めていきます。また、京都府にベストプラクティスとして認定された働き方改革に磨きをかけ、また電池やバイオ分野などを中心とした産官学の地域連携を活かしたイノベーション活動など、「地域社会とのサステナブルな価値共創」という観点も大切にしたいと考えております。

【サステナブル経営委員会の概要】

＜サステナブル経営委員会の目的＞

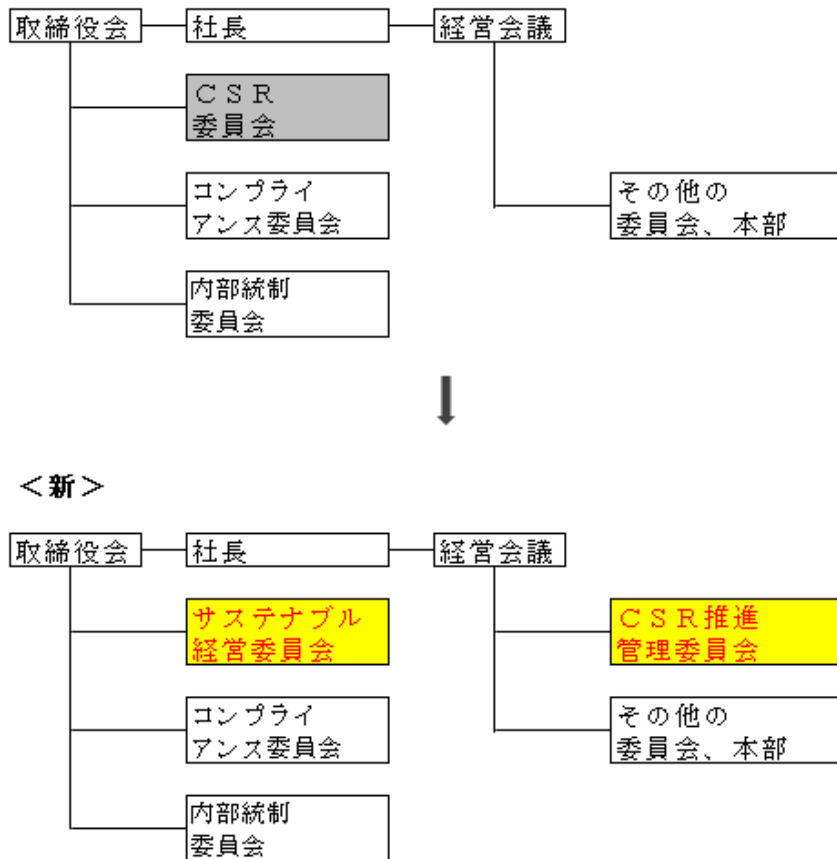
当社が持続的に成長するために、ステークホルダーと連携しながら、経済的価値と社会的価値を共に向上させること

＜サステナブル経営委員会の役割＞

- (a) 当社グループ全体としての持続的成長のために、経済的価値、社会的価値を創出するプロセスについて検討する。
- (b) 環境・社会・ガバナンスに関して優先して対応すべき重要課題（マテリアリティ）について、その解決に向けた方針や全社施策を審議・決定し、関連部署の施策に展開すること。
- (c) 上記施策に関する計画、進捗、成果をレビューし、必要があれば、改善、是正等を審議・決定する。
- (d) ステークホルダーのみならず、国連等グローバル組織とも積極的にコミュニケーションを図るため、当社のサステナブル経営についての情報発信拠点となる。

<サステナブル経営委員会体制図>

社会的価値創造と経済的価値創造を好循環でつなげるため、サステナブル経営をCSR（企業の社会的責任）の上位概念として位置づけ、サステナブル経営委員会を取締役会の下部組織に設置するとともに、これまであったCSR推進管理委員会はサステナブル経営を実現していくための重要な組織としてサステナブル経営委員会から独立分離させ、経営会議の下部組織としました。



当社グループは、サステナブル経営委員会の設置により、サステナブル経営体制をより一層強化し、社会からの期待に応え社会的責任を果たすとともに、企業の持続的成長に努めていきます。

※1 社是の実践を通じて持続可能な社会の実現に貢献すべく、さまざまなステークホルダーにとって価値ある企業であり続けるために絶えず挑戦し、たくましく成長していくことを経営の基本方針としています。第10次中期経営計画では「変える。」をスローガンに、全従業員が誇りを持ち、働きがいを感じるユニークなグローバル企業を目指し、製品の高付加価値化だけでなく、SDGsや、持続可能な社会の実現に寄与する研究開発テーマに関するテーマの推進、働き方改革やダイバーシティ&インクルージョンなどの意識改革、制度改革の推進により、企業価値の向上を図るサステナブル経営を加速させてきました。

◆当社のサステナブル経営について

<https://www.sanyo-chemical.co.jp/sustainability>

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

三洋化成工業株式会社 メディア・IR部

電話/075-541-4312